

函館エリア

(1)事業概要

- 地方自治体：北海道、函館市
- 課題：「ガゴメ及びイカの高付加価値化等に関する開発研究」
- 中核機関：財団法人 函館地域産業振興財団
- 核となる研究機関：北海道大学、北海道立工業技術センター
- 概要：函館エリアの水産・海洋に関わる独創性豊かな科学技術を融合させ、当エリアの代表的な水産資源であるコンブ、イカのブランド力強化と高度利用を目指す高付加価値化を進める。コンブでは、良質のフコイタンを多量に産出するガゴメのライフサイクル(生活史)を解明、操作することによって、フコイタン高生産システムとしての海中及び陸上栽培技術の確立とフコイタン関連産業の育成を図る。イカでは、鮮度保持の仕組み、乾燥中の食品における水分状態と品質の関係、水産加工食品の細菌検査の迅速化、イカ墨の微細の色素粒子を高い純度で取り出して凝集しないようにする分離分散化方法等のテーマについて、科学的解明及び産業技術化を図る。

これらにより、海洋生物の総合的資源開発を図り、食品産業、医薬品産業、情報産業等の高付加価値新産業の創出に結び付ける。

※ガゴメ… 函館の周辺海域に特産するコンブ科トコロコンブ属の大型褐藻(体長約2m)。

※フコイタン… 水溶性植物繊維の一部で、フコースを主成分とする硫酸化多糖。高血圧抑制、抗腫瘍・抗アレルギー等の作用を有する多機能物質。

(2)評価

本地域では、「函館国際水産・海洋都市構想」の策定、「マリン・フロンティア科学技術研究特区」の認定などを背景に、北海道を代表する水産資源であるコンブ類とイカの付加価値向上を図るための共同研究が進められてきた。これにより、ガゴメの素材単価の上昇・用途の拡大等に成功し、直接的な売り上げ効果で10億円を超す経済効果がもたらされ、また、特許の出願件数についても目標を大幅に上回るなど、事業化に繋がる成果が着実にあがっており、高く評価できる。

研究開発については、ガゴメとイカに関する2大テーマを柱とし、大型成果の結実が期待される長期展望型の研究と、直ちに事業化が見込まれる研究を並行して取り組むことにより、学術的成果はやや少なめの感があるものの、実用的で新事業創出に繋がる多くの成果が得られた点は評価できる。

地域における産官学ネットワーク形成が十分に進展し、特に、当初13社であった参加企業が52社にまで増加したことは、この事業が地元企業に魅力的なものとして受け止められたことによるものであり、高く評価できる。また、参加企業側も自らの経営資源をこの事業に

投入する姿勢が見られたことから、事業計画が適切であったと判断される。さらに、グループミーティングを開催するなど、当初計画にないことを、事業の進捗状況に応じて実施するなどの工夫が見られた点も評価できる。

地域の取組としては、地域の関係機関が連携して、製品開発から販路開拓方策までの検討を行い、地域ブランドの形成に向けた取り組みを進めている点や、地域内外での展示会への出展や試作品の市場調査の実施など、成果の情報発信に熱心であった点も評価できる。

今後は、北海道内に留まらず、機能性食品系、医学系の専門家などの人材を、幅広く取り込んでいくことが望まれる。

(3) 項目別評価結果

1. 目標達成度		A+
2. 事業計画		A
3. 事業成果	(1) 連携基盤の構築	A
	(2) 研究開発の成果	A
4. 地域の取組	(1) これまでの取組	A
	(2) 持続性・自立性	A